

ニコニコ箱

林さん、卓話楽しみです。(江守康昌)  
 八木委員長と同席。熱弁を拝聴したので。(淡島智子)  
 八木委員長のご奉仕の理想に共感して。(伊井彌州雄)  
 林さん、卓話ありがとうございました。(岩見祐樹)  
 八木委員長のお隣になりました。(加藤幹夫)  
 林さん、卓話楽しみです。(佐々木公啓)  
 林さん、卓話ありがとうございました。(高村昌裕)  
 先日、娘の高校受験があり、無事私立高校に合格しました。  
 公立の受験がありますが、ひとまず、ほっとしました。(竹下耕輔)  
 八木委員長と同席になって。(西澤雄三)  
 八木委員長と同席して。(山本 宝)  
 大谷諭史・高原一祥・細江 究  
 米寿御祝/北陸も「春一番」(清水慶造)  
 【配偶者誕生日御祝】八木信二郎  
 結婚記念日御祝/林さん、卓話ありがとうございました。(生田健太郎)  
 各 君

米山奨学特別寄付金

江守康昌・加藤幹夫・山岸恒一  
 本日限定ポールマッカートニーミュージックフィルム上映。夜の部あります。(伊井彌州雄)  
 林さん、卓話ありがとうございました。(上田祐広)  
 林さん、卓話ありがとうございます。(西澤雄三)  
 西澤さんと同席させていただきありがとうございました。(八木信二郎)  
 各 君

第2回 炉辺会談 テーマ「福井のために、私たちができる地域貢献とは」

第3班 (開催日時) 2026年1月29日(木) 18:00～ (開催場所) クッチーナ  
 (参加者) 座長:松田 将裕 世話役:早川 和伸  
 草野 雄司、山岸 恒一、平田 制、伊井 彌州雄、新田 義和、寺本 光宏、森川 圭造 以上9名

- ☆ 福井に愛着を持ち、普段から地域のことを考え、その思いをロータリーを通じて大きくしていくことが大切である。
- ☆ 児童養護施設の子どもが18歳で社会に出る厳しい現実を理解し、ガウディ計画など既存の支援を確実に継続することが重要である。
- ☆ 金融教育や環境保護活動を通じ、子どもや地域が将来困らないための実践的な支援を行うことが地域貢献につながる。
- ☆ 人がいなければ地域は活性化せず、若者が県外に出て戻ってきたいと思える福井づくりが必要である。
- ☆ 良い仲間をつくり、県外とのつながりも大切にしながら、職業を通じて社会に貢献していくことが大切である。
- ☆ 福井ロータリーに所属し、福井の歴史を学び大切にすること自体が地域への貢りである。
- ☆ 例会や炉辺会に積極的に参加し、継続して関わる姿勢が地域貢献につながる。



ビジター受付

■3月 3日(火) 福井フェニックス 17:00～18:00 ザ・グランユアーズフクイ1階  
 ■3月 12日(木) 福井西 12:00～12:30 福井アカデミアホテル1階フロント  
 ■3月 25日(水) 福井北 12:00～12:30 ザ・グランユアーズフクイ1階

事務所 〒910-0006 福井県福井市中央1丁目3番1号加藤ビル5階 TEL:0776-25-0633 FAX:0776-24-8622 例会場 ザ・グランユアーズフクイ3F TEL:0776-24-3200 例会 毎週木曜日12:30～13:30 クラブ会報委員会 委員長:長谷 美左子 副委員長:谷崎 由美子 委員:村田 長隆・林 明美・宮本 泰成・石川 浩基・高村 昌裕 ソングリーダー:浦川 卓二 サプリーター:木村 憲一・北島 恬・野尻 章博・渡辺 和男・谷崎 由美子・庵 貴敏・八木 信二郎・佐々木 公啓 ホームページ http://www.fukui-rotary.com/ E-mail info@fukui-rotary.com 創立 1950年(昭和25年)10月15日 RI承認 1950年(昭和25年)12月4日(承認 No.7647)	現在会員数 <h1>141</h1> 名
---	-------------------------

ロータリー財団増進特別寄付金

MY ROTRY、登録をお願いします。(江守康昌)  
 林さん、卓話ありがとうございました。(油谷光紀)  
 わずかでも世界の役に立ちますように。(出雲路康照)  
 昨日、福井新聞にも掲載していただきましたが、只今、弊社にてアート展を開催しております。アートにご興味ない方もぜひ遊びにいらしてください。(木村佳美)  
 「りくりゅう」ペア バンザイ。(佐々木知也)  
 林さん、卓話ありがとうございました。(辻橋清和)  
 2/16 福井東 RC の例会にお邪魔して、パキスタンにて精力的にポリオ根絶活動に従事されている永田様の卓話を聞いてきました。(寺本光宏)  
 江守会長の職業奉仕に感謝して。林会員の卓話、楽しみです。(野村直之)  
 木村憲一・玉木 洋・渡邊義信  
 各 君

寄付金の状況

	2月19日分	累計	目標
ニコニコ箱	43,000円	1,975,000円	3,000,000円
ロータリー財団	22,000円	3,197,680円	4,457,300円
米山奨学金	13,000円	1,678,150円	2,726,000円

ありがとうございました。

# ROTARY CLUB of FUKUI

福井ロータリークラブ会報

R.I. District 2650 2025-2026 Weekly Bulletin  
2026年2月26日 第2709号(創刊2865号)

《2025-2026年度 R.I. 会長メッセージ》 **クラブテーマ：繋ぐ、飛躍する** **地区スローガン：未来へつなぐ**  
 バストガバナー 宮崎 茂和 / ガバナーエレクト 平野 洋一

	理 事	特別理事・監事	役員補佐
会長	江守 康昌	クラブ奉仕 田中 秀也	創立75周年特別理事 佐々木知也
副会長	高木 義秀	職業奉仕 瀬越 智和	創立75周年特別理事 渡邊 義信
直前会長	上田 祐広	社会奉仕 南 宏季	監事 岩下 春幸
幹事	増田喜一郎	国際奉仕 後藤 正邦	監事 清水 則明
会計	初瀬川達郎	青少年奉仕 森川 圭造	
会場監督	前川小百合	ロータリー財団 寺本 光宏	

R.I. 会長 フランチェスコ・アレツォ R.I. 第2650地区ガバナー 小崎 学  
 2月は「平和構築と紛争予防月間」です - 平和がより広く定着し、ロータリーが平和の追及において益々有意義な役割を果たす。 -

本日の例会 2026年2月26日 第3660回 今後の予定

**12時30分 開会点鐘**

**会長挨拶**

**委員会報告・幹事報告・その他**

**会員卓話(鈴木 武雄 会員)**

**13時30分 閉会点鐘**

- 3月 5日(木) 栄誉行事/クラブフォーラム (地区委員会卓話 野口 真理子 RLI 委員長)
- 3月 12日(木) 休 会
- 3月 15日(日) ドラゴンリバー交流会主催：足羽川清掃活動
- 3月 19日(木) 福井 RAC と合同例会(夜間)

会長挨拶

**2025-26 年度 会長 江守 康昌**

2月も半ばを過ぎ、世界に目を向けますと、冬季オリンピックが終盤を迎えております。日本選手団のメダル数が日本史上最高となるなど、大きな盛り上がりを見せています。一昨日のフィギュアスケートでは、「りくりゅう」ペアがショートプログラム5位と出遅れながらも、フリーで世界最高得点を記録し、見事金メダルに輝きました。木原選手が引退も考える中、大きなけがを乗り越え、「雷が落ちた」というトライアウトでの三浦選手との出会いからペアを結成し、この舞台に立ちました。多くの困難を乗り越え、最後まで諦めず努力を続けた二人が世界一という形で結実した姿は、私たちに「諦めないことの大切さ」を改めて教えてくれたように思います。

一方、国内では先日の衆院選を受け、第2次高市内閣が発足しました。今回の選挙で掲げられた「積極財政」は、地域経済にも直結する重要な方針です。

2年間の食料品消費税廃止による家計負担の軽減策や大型投資の推進など、地域社会や企業活動の下支えとなる施策が、実効性をもって着実に進められていくことを期待したいと思います。

さて、今週の月曜日に「クラブサポートミーティング」が行われました。ミーティングの中では、My Rotaryの登録状況や会員増強・維持の進捗、奉仕事業の評価などが話し合われました。当クラブの課題のひとつは、My Rotary登録率がまだまだ低いことです。福井あじさいロータリークラブが82%であるのに対し、当クラブは59%に留まっています。登録がお済みでない会員の皆さまは、ぜひ登録をお願いします。また会員増強について、当クラブは今年度、現時点で18名の新規会員が加わりました。大変喜ばしい成果ではありますが、クラブの活力を維持し、さらに発展させていくためにも、今後も継続して会員増強に取り組みたいと考えています。

なお本日の例会では、ロータリー財団のマルチプル・ポール・ハリス・フェローの表彰や、福井新聞社 営業事業局長の林 明美会員による卓話がございます。

**次回の例会** 2026年3月5日(木)

- 会場：ザ・グランユアーズフクイ
- 栄誉行事/クラブフォーラム (地区委員会卓話 野口 真理子 RLI 委員長)
- 開会点鐘： 12時30分
- 閉会点鐘： 13時30分



2026年2月19日 第3659回

出席報告	● 現在会員	141名
	● 出席者	99名
	● 欠席者	36名
	● 出席免除者欠席	6名
	● 今回例会出席率	73.3%

例会修正出席率	1月29日	
	● メークアップ	19名
	● 欠席者	23名
	● 修正出席率	82.6%

●メークアップ 浅井正勝・寺本光宏(2/14 地区2026-27年度 第2回ガバナー補佐ラーニングセミナー)、江守康昌・増田喜一郎(2/16 2025-26年度クラブサポートミーティング)、須賀原和広・新田義和(2/20 鯖江)、城戸利枝・白江文夫・村中洋祐(2/21 地区 2025-26年度 国際奉仕セミナー) 各君

例会報告

表彰

- ロータリー財団 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
  - 第6回 玉木 洋 会員
  - 第4回 出雲路 康照 会員
  - 第3回 江守 康昌 会長
  - 第2回 荻原 昭人 会員
  - 第1回 桑原 慎治 会員・畑下 徳洋 会員・堀内 康代 会員



卒業証授与

- ロータリー・リーダーシップ研究会 パートⅢ修了並びに卒業



城戸 利枝 会員



幹事報告

幹事 増田 喜一郎



① My Rotaryへの登録についてですが、パスワードを忘れると、その再ログインは非常に大変で、ロータリー本部（アメリカ）に問い合わせをして、パスワードをリセットして頂く流れになります。

事務局より依頼が出来るパターンと、ご自身が依頼していただくパターンの2通りあるそうですが、まずは、現在登録頂いてない方は、そのパスワードがわかるかどうかも含めて、公共イメージの辻橋委員長と親睦委員会の皆さんにご協力頂き、その調査をしたいと思っております。

その上で、全員登録に向けてご案内させていただくという形を取ってきたいと思います。

また会長からもございました通り、この地区は、

My Rotary への登録人数と会員増強が1つの指標になっています。非常に数字として現れ、目立ちますので宜しくお願いいたします。

次年度、平野ガバナーを排出するにあたって、My Rotaryへの登録が福井の中で1番低いことにならないように、登録が終わるまで補助させていただきます。

② 4月5日の地区大会の件です。先日ご案内した通り、次年度平野ガバナー排出、そして来年、地区大会を開催します。地区大会開催にあたっては、より多くの目で他の地区大会を見て頂きたいと思っております。

まだ出欠のご連絡を頂いてない方もいらっしゃいますが、欠席で返事をされている方は今一度予定を見直して頂き、出席できるように調整頂けたらありがたく思います。是非よろしくお願い致します。

第2回 炉辺会談 テーマ「福井のために、私たちができる地域貢献とは」

第2班 [開催日時] 2026年2月5日(木) 18:30～ [開催場所] かんきち  
 [参加者] 座長: 清水 則明 世話役: 辻 武志、小森 富夫、中広 久、石川 浩基、木村 憲一、小川 尚樹、中田 千晶、片山 元 以上9名

- ☆ 人づくり系の活動が多いと感じている。それはしっかりと行いつつも、先日行ったキャリア教育の事業などはその目的を明確にしたほうが良いと思う。また、まちづくりの活動が少ないと思っているので今後のことを考えて地域の人口動向にコミットし手も良いのではないかと。
- ☆ 住宅関連の仕事をしているのだが、自分の仕事を知ってもらって、仕事に関わる植林や脱炭素活動などの行いが地域貢献につながるのではと思っている。
- ☆ 職業訪問や清掃活動を社員を巻き込んで行うとよいのではないかと。やるからには目立つよう実施。以前行ってたガムとり作戦はニュースなどに取り上げられていた。今なら恐竜のモニュメントの清掃など良いのではないかと。きれいにした恐竜に衣装などを期間限定で着させても面白いと思う。ニュースに取り上げてもらえるのではないかと。
- ☆ 入会間もないので会員の情報共有が大事と感じている。
- ☆ 福井県には市立の病院が少ない。大きな病院はあるがそちらに集中してしまうとパンクする。初期検査を個人病院などに行ってもらって地域医療による地域貢献の広がりが大事と感じている。
- ☆ グループ会社を福井で起業する。それによって雇用を増やす。そして個人・会社でボランティアを行う事での地域貢献を行っていく。
- ☆ 周年の時には後々まで残る事業を行っていた。クラブとして見える形で後々まで残る事業をやる必要があると感じている。
- ☆ 他の市町は役所主導による子供の遊べる施設を整備しているが福井市にはそれがない。特に冬の季節には外ではなかなか遊ばせられる所がない。冬使われない中央公園などを活用できる方法があれば地域貢献につながるのではないかと。
- ☆ 職業奉仕。ロータリーに所属している会社は同業者から尊敬されるような高潔性が求められると教えられた。自社のトラックに子供の絵をラッピングする事業を行っている。自社の社員の子供が多いが、中には子供ホスピスにいる子たちの絵も貼っている。その中には亡くなった子供もおり、その家族から感謝されることがある。NPO 活動を行っている方々の卓話を増やし、その中で様々なアイデアの共有を図っても良いのではないかと。



会員卓話



林 明美 会員

今日は貴重なお時間をいただき、ありがとうございます。また、日頃より皆様には多大なるご支援を賜っておりますこと、厚く御礼申し上げます。

今日は、福井新聞社の地域とともに歩んだ127年と、私たちの役割などについてお話しさせていただきます。

◎「まず飛び込む」

まずは自己紹介をさせていただきます。私は福井市出身で、大学時代は体育会の水泳部に所属していました。友人の付き添いで見学に行ったはずが、いつの間にか入部し、毎日坂ダッシュを繰り返す日々。ゴールデンウィーク明けの刺すように冷たい屋外プールに覚悟を決めて飛び込むと、あまりの寒さに止まらずひたすら泳ぐしかありません。冬には氷を割って泳ぐ寒水泳も経験しました。銭湯で知らない人に「ハワイ帰り？」と聞かれるほど真っ黒になりながら泳ぎ抜いたあの頃。「どんな状況でも面白がって、まずは飛び込む」という精神が、今の私の土台かもしれません。

新聞社との縁も、1枚の小さな求人広告からでした。配属された広告局の企画部門では、当時、記者出身の先輩方が多く、企画・取材・撮影から暗室での現像までも自分たちでこなす「なんでも屋」。フィルムを現像液に沈めて真っ黒にしてしまい、真っ青になるなど、数多くの失敗もありましたが、なんでもやってみるのが楽しい日々でした。

◎「ご縁」と多様性を実感した日々

入社10日目、県立恐竜博物館の開館を記念した「恐竜エキスポふくい」実行委員会事務局へ出向しました。新聞社から行政へ初の出向で、県、勝山市、企業等からの混成部隊。今なら「多様性」という表現がぴったりの職場で、広報として情報を集め、資料をまとめ、出向宣伝やマスコミまわりなど、ひたすら恐竜博物館と恐竜エキスポを全国の方に知っていただくために奔走しました。本番年は休みもない過酷な日々で、開幕後のナイター営業日には4万歩を歩き、健康すぎる毎日を過ごしました。おかげさまで、楽しんで誠実にともに仕事をするかけがえのない仲間にも恵まれ、いつしか「ホーム」に変わりました。この経験は大きな財産です。

その後、東京支社での勤務を経て本社に戻ってからは、多くの素晴らしい哲学に触れる機会にも恵まれました。聖路加国際病院理事長の日野原 重明先生（当時99歳）からは、10日に1回は全国や海外に行き、子どもたちに「命は君が使える時間のこと。大きくなったら誰かのために命を使ってほしい」と話をするのが好きと伺いました。また、茶道裏千家の千 玄室大宗匠（当時87歳）からは「お茶を点てて、どうぞと相手に一歩譲る気持ち。人を思いやる心も誤りを認める素直さもお茶を通して養われる」というお話を伺いました。これらはまさに、ロータリーの「奉仕の心」そのものと感じています。

◎127年の「紙齢」に刻まれた使命

福井新聞社は1899年（明治32年）創業、今年で127年になります。私たちは、題字の横にある「紙齢（しらい）」を大切にしています。今日は4万4452号。明治32年の創刊以来、どんなことがあっても情報を届けてきた先人たちの使命感の積み重ねです。

昭和23年の福井地震の翌日も新聞発行を続けました。また、2018年（平成30年）の豪雪では、道が閉ざされても販売店、配達員、そして全社員が一丸となって一軒一軒に新聞を届けました。

一方で、2024年春の北陸新幹線福井県内開業や、敦賀気比高校の北陸勢初の甲子園優勝といった、地域が歓喜に沸く「嬉しいニュース」も、号外や特別紙面とともにお届けしてきました。大混雑のなかでも、あるいは喜びのなかでも、しっかりと情報を伝える。それが地方紙の存在意義で、地域の歴史と情報の生命線を守るという強い思いです。

◎「地域の伴走者」として

今回、弊社のアーカイブからロータリークラブの皆様の活動記録を振り返りました。1996年の「社会を明るくする運動」、1997年の市内6RC初の合同例会、2006年の養護学校への植樹活動、ネパールの学校へ寄付事業……。

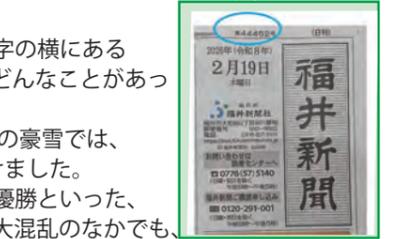
記事を読み返すと、福井ロータリーの先輩方がいかに長く、奉仕活動の先頭に立ちつられたかが鮮明にわかります。



1997年1月28日 福井新聞 「市内6RC初の合同例会」



2006年3月11日 福井新聞 「ヤマモモの木植樹」



2024年3月16日 福井新聞 「北陸新幹線県内開業」記念別刷り特集号



2012年5月25日 福井新聞 「ネパールの学校へ寄付事業」

現在、私がおります営業事務局は、広告と事業部門があります。単なる情報発信に留まらず、広告の力や多彩な事業を通じて、人と人、人と企業を繋いでいくことで、福井をより良くしていく取り組みに力を入れています。

例えば、北陸新幹線開業に合わせた機運醸成や、若者が「福井で働きたい、生きていきたい」と思えるようなキャンペーン企画もその一つです。イベント、新聞広告、SNSなどを連動し、若者と企業の新しい出会いを創出しています。地域の盛り上げはもちろん、人口減少や担い手不足といった地域課題の解決に、皆様と共に挑む「伴走者」でありたいと思っています。

また、郷土の文化を次世代へ繋ぐ活動として、「かきぞめ（第90回）」や「幼児画コンクール（第55回）」といった長年続く事業は、子どもたちが幼い頃から文化に親しみ、自らの表現を認められる喜びを知るための大切な場です。先生方の協力を得ながら、行政・企業の皆様と共に全力で応援しています。また、地元ではなかなか見ることができない大型の美術展や音楽会などを企画・提供することで、県民の皆様にも「本物」に触れる感動をお届けしたいと考えています。

「ご縁」を大切に、これからの福井をより楽しくしたいと思っています。いつでもお気軽にお声がけください。

今日は誠にありがとうございました。